

あんじょう協働 リビングラボ

NEWS LETTER 5

2月1日土曜日の午前、市民交流センター2階多目的ホールで、「あんじょう協働リビングラボ」の5回目を開催しました。参加者は、市民と事務局スタッフを含めて23人でした。

最終回となったこの日のテーマは「発表会を開こう！トライアルの成果報告」。4チームが「あんじょう協働プロジェクト」の実証実験「トライアル活動」の成果報告をしたあと、チーム活動を振り返り今後について考えました。最後に全員で輪になり、これまでの「気づき」と「わたしの約束」でチェックアウトしました。



LIVING LABO

1. トライアル発表会

各グループからの発表と質疑応答のあと、それぞれの活動に対する「評価」・「改善」を記入したカードを贈り合いました。

A すまふあんず 「スマホでまっぐる」

高齢者にスマホを使って外に出てもらおうということで、Google Mapsの活用を分かりやすく伝える講座を開催。1月11日に市民交流センターでチラシを作り公共施設に置いたほか、イベントや手配りなどをしました。

参加者は主に70～80代のみなさん。予定していた20名をはるかに超える25名が参加！講師の先生だけでなく、みんなでアシストしながら丁寧に教え、参加者から「こういう講座をまた開いてほしい」と言ってもらいました。



他市では、スマホ講座などを行う「デジタルアンバサダー」というシステムがあるので、安城市にもあればいいなと思いました。アンバサダーは市民がボランティアでやるのもいい。みんなで教え合うという世界ができると、いいのではないかと思います。

B まちなか農園 「農業ほりほり体験！ 未来をほりおこそう」

農業と街中を活性化するため、街中で花や野菜を栽培しようというのが最終目的。そのためのトライアルとして、11月23日にホコ天でイモの収穫体験と、クイズ、街中栽培の意識調査（公園の草木活用、公園での花・野菜づくりについて）をしました。子どもだけでなく、大人にも楽しんでもらえました。

今後は、落葉広葉樹があって花壇が使われていない公園を探し、循環（枯葉や小枝の腐葉土化）から始め、畑のモデルケースを作っていきたいと思います。



C ほっこりチーム 「ほっこり交流会」



高齢者の生きがいや世代間交流、子育て環境の充実の3つを狙いとし、12月12日の午前10時から朝日町相生町公民館で交流会を開催。3組の親子の申込みがあったのですが、当日は体調不良で1組に。また協働パートナーとしてシニアさん4人に参加していただきました。

内容は、大型絵本の読み聞かせ、手形足形アートのプレゼント、そして手作りおもちゃを子どもさんと一緒に作りました。子どもさんは楽しそうで、シニアの方にも「子どもと触れ合って楽しかった」と喜んでくれました。欠席した親子からも「またやってほしい」という声があり、交流へのニーズがあることがわかりました。

今後、月に1回くらい開催できたらいいな。参加者集めや、公民館を使えるかなどが今後の課題です。

E 「外国人と日本人が知り合う 多文化の場づくり 場づくり@デンパーク」

日本に住む外国人とうまく共生するにはどうしたらいいかという観点から考えました。1月25日に社会実験として、デンパークの体験教室で外国人家族と日本人と一緒にパン作りをするイベントを企画・開催しました。

参加した外国人は19人、日本人10人。結果は大変好評でした。アンケートでは「日本人と一緒にイベントに興味があるか？」との問いに対し、全員が「ある」と回答。デンパークについて多くの人が「よかった」と回答。また関心のあるイベントは「音楽・ダンス」や「勉強会」より「料理」が一番多かったです。

今後は定期的にデンパークで、こうした国際的なイベントを実施していきたいと思っています。



2.グループワーク「KPT ふりかえり～どーする？今後」



A すまふあんず

次回開催する場合は、Google Maps のストリートビューの活用についても踏み込めるといい。また、あんくるバスに着目し、PayPay で支払えるとか、時刻が調べられるとか、スマホを使うことによってあんくるバスの利用者が増えれば、本数が増えるかもしれないし、安城市の活性化につながっていくんじゃないか。市の事業として「デジタルアンバサダー」を募集していただき、スマホを活用できるまちになっていくといいなと思います。



B まちなか農園

公園を畑にする発想がいいという評価を頂けました。管理が大変そうだという意見をいただきましたが、トマト、ハーブのコンパニオンプランツによる「ほったらかし農園」がいいのかなと思っています。「循環させた公園」として「モデル公園」を作っていきたい。トマトとバジルでピザパーティーをしましょう！ということで、子ども会や町内会などにも話をして進め、楽しいことやってるねと、どんどん広めていければと思っています。



C ほっこりチーム

もうちょっとやりたかったなという気持ちが残っているので第2回の開催にチャレンジしたい。チラシを白黒印刷するなど低コストで行えるようにして継続開催したい。毎月第〇〇曜日と固定したらスケジュールが組みやすいんじゃないか。空き家対策をしているメンバーもいるので空き家活用をしたり、地域資材、福祉センターにも相談したりして低コストで福祉資源や人材の活用をしていけたらいいなと思います。



E 多文化の場づくり

チームのメンバーが少ないので、「仲間集め」をしていきたいです。月1回程度の定期開催をしていけたら…。今回は活動費（予算）があったけど、今後はスポンサー集めをするなどして、参加費を抑えて継続できる方法を考えたい。デンパークに限らず開催場所も検討していきたい。ブラジル人に来てもらえるイベントを考えたい。将来的には、行政やデンパークを巻き込んだ大きなイベントもできないかなと思っています。

3.チェックアウト「気づきと約束」

継続していきたい！

公園が子どもや
年輩者の居場所
づくりになればいい

いろんな世代の方と
交流し話したことが
学びになりました

心の青春は
いつもでも燃やし
続けていきたい

やりたいことは違
っていったが、みな
なで一緒に企画実行
できたことはすごい

安城へ強い想いを
持つ姿を見て素敵
だなと思いました

安城には1人1人
本当に素晴らしい
人がいると
気づかせてもらった

子どもたちを
尊重できる権利を
もっと伝えて
いきたい

空き家を地域の熱意
ある方とコラボして
いくと形になるの
かなと思いました

得意な人が得意な事を
活かしてやればいい。
生徒と生徒でも教え合
うことができる

皆さんにつくづく
感謝、出会えた
ことに感謝したい

少ないお金でも工夫
次第で結構いいもの
ができるんじゃない
かなと思いました

安城っていい所だな
と思いました。子ど
も達が戻ってきたい
まちにしていきたい

楽しい+α
があるような企画を
今後もしていきたい



やってみて
実際にやれるという
ことがわかりました

誰が何をできるか
話をすると出てくる。
もう少し話してみるこ
とができたら

人との関わりって
大事だな、楽しいなと
思いました



【発行・問合せ先】

安城市役所 市民協働課

TEL 0566-71-2218

✉ kyodo@city.anjo.lg.jp

※8:30~17:15 (土日祝日を除く)